

「国立研究開発法人国立成育医療研究センター契約監視委員会」の審議概要について

第２２回国立研究開発法人国立成育医療研究センター契約監視委員会が、２０１７年４月１７日（月）に、国立成育医療研究センターにおいて開催されましたので、その審議概要について公表します。

【問い合わせ先】

国立研究開発法人国立成育医療研究センター
契約監視委員会事務局（監査室）
電話０３－５４９４－８１２７

第２２回国立研究開発法人国立成育医療研究センター契約監視委員会（概要）

開催日及び場所	２０１７年４月１７日（月） 於：国立成育医療研究センター２階会議室２１
委員（敬称略） オブザーバー 契約担当部局 事務局	渡邊 穰（外部委員） 新井 努（外部委員） 石原 正之（監事） 西田 大介（監事） 奥山 眞紀子（契約審査委員会委員長） 財務経理課長 調達企画係長 契約係長 監査室長 監査係
議題	１．２０１６年度契約について ２．２０１６年度随意契約案件について ３．２０１６年度一者応札案件について ４．２０１６年度落札率１００％案件について
審議概要	１．２０１６年度契約について ２０１７年１月１日から２０１７年３月３１日（以下、「対象期間」という。）に締結された契約５１件（除外部資金研究費）について、事務局から概要の説明を行った。 ５１件のうち、競争性のない随意契約が２１件、競争契約が３０件であった。 競争契約３０件のうち、一者応札が３件、落札率１００％は該当無しであった。 また、対象期間に締結された外部資金による一般競争契約１件について、事務局から概要の説明を行った。 ２．２０１６年度随意契約案件について 対象期間に締結された競争性のない随意契約２１件（除外部資金研究費）について、契約理由の説明を事務局から行い、妥当性につ

	いて審議した。 3. 2016年度一者応札案件について 対象期間に締結された一般競争契約のうち、応札者が一者しかなかった3件（除外部資金研究費）について、事務局より説明を行い、入札参加条件及び入札広告等について、前回の調達状況と比較のうえ検討を行った。 一者応札のうち2件（除外部資金研究費）について、2年連続一者応札であったため、「一者応札フォローアップ票」を確認し、一者応札の改善方法を審議した。 ○契約係が積極的な誘引を行ってもなお、一者応札となったことから、同規模他施設参入業者からの情報収集をさらに実施し、競争性の確保に努め、複数業者の入札参加の促進を進めると同時に、さらに誘引を可能とするような契約形態を検討することが望ましいとの意見があった。 4. 2016年度落札率100%案件について 対象期間に締結された一般競争契約では、落札率が100%の案件は無かった。
--	---